

平成 28 年度 第 5 回静岡県作業療法士会 理事会議事録（平成 28 年 12 月 3 日）

出席者：秋山、梶原、三井、稲葉、岩井、大石、大庭、小林、建木、林、村岡（理事：11 名）、
小笠原、遠藤（監事：2 名）、白石、清水、伊海、岡本（部長：4 名）
〔高岡、伊井、成田、武内（書記）〕

場 所：静岡県作業療法士会事務局（静岡市） 13：00～17：40

※【平成 28 年度 第 5 回理事会資料】＜別紙資料＞に順じて進行

【報告・審議事項】

・日本作業療法士協会 50 周年記念イベント（石川県事業）：風船バレーボール大会にて静岡県準優勝

1. 事務局会議、3 役会での報告事項（岩井事務長）

- 1) 2025 年までの 8 年間 大庭理事を担当者としてスケジュール・ロードマップ作成。
- 2) 各部研修会など 1 年間のスケジュールを立ててほしい
- 3) 事務局機能：小田巻税理士と 3 役との検討会を設ける（事務局機能の充実を来年度の最重要課題）
マンパワーの解消や執行率を見ながらの予算立て
⇒ 事務局業務量の見える化も必要
- 4) 予算審議会について：配賦前、配賦後でのお金の収支が分かりにくい。
余剰金が 1 年以上繰り越してはいけないという縛りをクリアできるように。
執行状況を見てバランスを整理する。
⇒ 12/4 梶原副会長、岩井事務局長、勝又理事で予算作成の仕組み作りを打ち合わせ
- 5) 次年度重要課題：①事務局機能の充実
②地域包括ケアシステムを見込んだ人材の育成
③様々な分野での WG の設置（精神、小児、認知症など）
④MTDLP
⑤子育て世代の支援
- 6) 会費未納者：協会会費納入・県士会会費未納という会員が多い。
- 7) 規約整理：文書の整理
・情報の管理：現状各部で管理しているが、今後一元化していきたい。

2. 静岡県士会学会 進捗

- 1) 第 30 回（大庭理事）：資料参照
・演題発表：締め切り現在 41 演題（目標 66 演題）2 次募集 12 月 22 日

- 2) 第 31 回（中部地区理事）：学会長 小林理事
次回理事会にて、コンセプトや組閣、会場など報告

3. OT 協会設立 50 周年記念イベント進捗（大石理事）

- ・作業療法カルタの作製（サンプルの提示、文言添削作業中）
- ・使用方法検討
- ・要アンケート回答（岡庭理事に確認）

4. 静岡県作業療法士連盟設立の進捗（稲葉理事）

- ・設立準備実施中（会費、徴収方法、入会手続きについて検討中）
- ・静岡県 PT 連盟との情報交換や協力体制の構築も検討していく ⇒ 熊谷会長の招集待ち

5. 認知症研修会について

協会で各都道府県より代表者を募り研修会を実施。内容を年度内に各士会にて伝達講習会を。

- ・小笠原氏、山崎氏が担当
- ・2 月 12 日（日）9:00～12:30 静岡医療科学専門学校にて研修会開催予定（小笠原氏より提案）
- ・今年度は教育部の予算（補正）で研修会開催
⇒ 精神科 SIG が同日研修会あるため、変更可能（会場、開始時間含め）か要検討。

6. 特別支援教育情報交換会の報告（東海北陸 OT 学会時に開催；伊井氏）

- ・各士会の活動と協会の方針について（詳細は資料参照）
- ・事業の展望として、情報交換会や研修会（実務で入っている OT より）の開催、人員の把握と確保
※SIG（人材育成目的）とは方向性が違う。

【意見】

- ・特別支援をどういう所（学校か地域かなど）でやるか、ニーズも把握しながら実施していくべき。
- ・ニーズ把握は調査部と連動するなど県士会部局と絡めて行ってはどうか。ニーズの把握（卒後の就労先や就労できる能力のアセスメント）とマンパワーとの兼ね合いで絞っていくことが重要。
- ・学校によっては分校が多い地域もある。

- ・方向性ややり方によっては SIG なのか、地域活動なのか精査していく必要あり。学術部だけでは活動が拡大しすぎる。

7. 各種委員の推薦依頼の確認（事務局）

- ・伊豆の国市介護認定審査会委員：川口典宏氏（順天堂大学附属静岡病院）を推薦
- ・西部保健所高次脳機能障害デイケアの講師：鈴木氏（掛川東病院）
- ・静岡市障害支援区分認定等審査会委員：選出検討（中部地区理事）
- ・三島市介護認定審査会委員：山下氏、他 1 名（先方からは審査会経験者を）
※審査会等の委員は 3 期を目安に選出
- ・静岡市障害者自立支援協議会（精神障害）地域移行支援部会委員：山本氏
- ・静岡県在宅復帰ガイドライン検討会：泉会長から依頼（協議会より依頼あり秋山会長担当）
- ・伊東市介護認定審査会委員：梶原副会長、梶原氏
- ・浜松市障害支援区分認定等審査会委員：建木氏、吉倉氏

8. その他

1) 伊豆の国市介護予防事業の委託あり（岩井理事）

2) 研修会依頼（秋山会長）

静岡県 CM 協会村田会長より、来年度 OT 県士会と CM 協会で合同研修会の開催依頼あり。

【意見】

- ・「生活行為向上マネジメント」や「福祉用具」がテーマであれば OT
- ・「包括ケアシステム」がテーマであれば 3 団体
- ・テーマについての確認が必要（協業など）

⇒ 村田会長に確認してから 3 団体の定例会で挙げて検討

3) 自動車運転研修会後の進捗（建木理事）

- ・10 月末の研修会後公安委員会から県士会の窓口の確認があった。
- ・OT 協会は制度対策部に紐づいておりガイドライン策定中
- ・勉強会や会議で公安委員会や自動車学校とつながっていたが窓口が未設置だった。

【意見】

- ・担当部局はどうするか。やるべき課題ではあるが、地域活動推進部は事業も拡大しているため、それぞれの事業が担当を設けてやれば良いが…。 ⇒ 地域活動推進部で来年度計画に組込む
- ・単に運転に関わるだけでなく、公共交通機関の使用も含めて移動手段としての改善に働きかける
- ・街づくりやインフラ整備、自動車の開発など環境にどう関わるかということも重要
- ・名称（モビリティマネジメント）についても今後検討

【各部報告】

1. 渉外部（秋山会長）

- ・渉外活動の報告（詳細は理事会資料参照）
- ・47 委員会では士会活動の多忙であることを報告してみる。

2. 都道府県連絡協議会（岡庭理事）特になし

3. 制度対策部（梶原副会長）

- ・研修会（講義・ディスカッション）開催についての報告（詳細は理事会資料参照）
※日程について再調整も含めて検討

4. 調査部（大庭理事）

- ・特別支援教育に関するアンケート実施（32 回答）今後 HP 掲載予定

5. 学術部（三井副会長、清水部長）

1) 研修会報告（学術部研修会、SIG 研修会）

2) 研修会への学生参加について（検討事項）参加要項（仮）作成

【意見】

- ・組織率向上のためにも学生の時期から参加は良いと思う。定員オーバー時は会員優先
- ・参加費は資料代としてはどうか。
- ・定款に見合った形（「会員」の研鑽としては「共益」だが、学生は含まれない。）
- ・学生への案内の仕方や参加者のとりまとめや受付など課題は多い。
- ・学会では学生の参加も認めている。
- ・ホームページ上に「学生参加研修会」という窓口を作る手段もある
⇒ 学術部と学校側で検討して進めていく。

6. 教育部（稲葉理事）

- 1) MTDLP：初期研修修了者で研修時間不足により基礎研修修了認定されていない会員数 227 名
対象者に案内をするべきか ⇒ 案内はしない。実践者を増やすこと検討してほしい。
- 2) 生涯教育制度推進委員会会議報告
 - ・生涯教育制度の現状
- 3) その他
 - ・来年度の教育部研修会の日程（別紙）
 - ・押印について各部が他の研修会等の押印ができるようにしてほしい（証明できれば良い）。
印鑑がない部局（事業部、福利部、訪問リハ）
⇒ 各部で責任をもって管理できれば良い。教育部で所有者を管理し必要数購入。
 - ・教育部研修会の参加者を協会に update し生涯教育制度に登録するが、不備（会員番号が違う等参加申し込みの段階で入力ミスがある）がある。
⇒ 会員管理システム研修会と次回の教育部推進委員会で情報を挙げる。

7. 事業部：（建木理事）

- ・各種事業報告

8. 地域活動推進部（林理事）

- ・伊豆市伊豆の国市グループ活動
- ・各地区情勢報告
- ・POS 会にて、リーダー導入研修会に各市町の代表者の参加を促す。
- ・地域活動推進部研修会：次年度 7 月 or 11 月開催予定。
- ・圏域の代表者への委嘱状・委任状ないため、代表者も所属施設にどう説明したらよいか…。

【地区活動報告】

- 1) 東部（大庭理事）：11 月 5 日にボッチャ大会へ参加
- 2) 中部（大石理事）：特になし
- 3) 西部（稲葉理事）：特になし
- 4) 精神障害ワーキンググループ（大庭理事）

- ・精神障害者地域移行支援に関する研修ワーキング開催

9. 広報部（大石理事、伊海部長）

- ・会報誌：2 月号スポーツ特集（現行締切 13 月 20 日）
- ・広報誌（一般向け）：創刊号、まずは OT の概要・活動を紹介 ⇒ 数パターン用意し検討
継続発刊していいのか。計画（内容、配布先等）的に戦略を立てて行う。
- ・各部に事業と異なるメールが届く ⇒ 事務局にメールが届くように問い合わせ先にしてほしい。
- ・訪問リハ振興財団より求人依頼（OT 協会を通して）あり ⇒ 地区メールにて対応
- ・ホームページ業者委託に向けて：現在の HP はセキュリティ面で問題があり、会員情報の管理には向いていない。業者への委託を検討していきたいが、メール配信機能はメールの数が多いとコストがかかりすぎる可能性がある。
会員情報管理を含め、事務局と相談していく。

10. 福利部（大庭理事報告）

- ・第 5 回静岡 OT リーダー育成研修会を開催し好評だった。アンケート結果報告

11. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

- 1) 地域包括ケアシステム・介護予防関連（林理事）：上項参照

- 2) 災害対策委員会（村岡理事）

- ・静岡災害リハビリテーション研修会：12 月 11 日（日）静岡県地震防災センターにて開催
- ・OT 協会災害支援ボランティア研修会報告
- ・静岡 JRAT：基金設立（協賛）については POS 会に議題として提案する。

- 3) 訪問リハビリテーション連絡委員会（岡本委員長）

【報告】

- ・訪問リハ委員会会議開催（11 月 6 日）：3 士会での意見調整、当初の目的との方向性など今後も調整・検討が必要。
- ・訪問リハ実務者研修会 1 開催（11 月 27 日）

【予定】

- ・訪問リハ実務者研修会 2 開催予定：平成 29 年 2 月 5 日（富士市）

12. 事務局

1) 財務部 (小林理事)

- ・人を多くした分作業が進まず。今後高岡氏にも打ち込み作業を行ってもら
- ・会計セミナー：1月10日(火)東京にて役員管理者向けセミナー研修会がある。
⇒会長・監事には参加してほしい。無理なら2月(名古屋)に参加してほしい。

2) 庶務、その他

- ・会費未納者：今後納入依頼の案内を検討
- ・事務局のワックス掛け、コピー機の更新、公益社団法人の名刺作成、事務局隣の部屋を借りることについての報告

3) 法人化推進委員会 (勝又理事)：特になし

4) 表彰委員会 (秋山会長)

- ・県士会表彰の規定変更の検討：次回提案
- ・平成29年度県士会表彰候補者(2名)
内藤氏(ボッチャ)リオパラリンピックで銀メダルに貢献、OTを広める取り組み
山本氏(フットサル)精神障害者への活動参加の促進に資する取り組み

【次回】

第6回理事会日程(候補日)：2月11日 ※ヒヤリング

平成28年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第1回	4月	24日(日)	新入社員エンターテインメント時	
第2回	6月	11日	部長会開催	6月18日 PT 県学会
第3回	8月	6日	納涼会	
第4回	10月	15日		
第5回	12月	3日	拡大理事会、忘年会	
第6回	2月	11日	ヒヤリング	25日 リハ懇
第7回	3月	25日(土) or 26日(日)	年度末の会計	